

中世都市鎌倉の風景（歴史学） Cityscape of medieval Kamakura(History) 担当教官：松尾 剛次 (MATSUO Kenji)	開講学年：全学年 開講学期：前期 単位数：2単位 開講形態：講義
教官の所属： 人文学部人間文化学科	
授業概要 B 『中世都市鎌倉の風景』というと、鎌倉（神奈川県鎌倉市）を取上げるのかね。 A 中世、すなわち12世紀末から16世紀末の都市鎌倉だけだね B 鎌倉は1180年に源頼朝によって開かれた都市だよ。なぜ頼朝は鎌倉に拠点をさだめたの。鎌倉の地図をみると鎌倉大仏とか鶴岡八幡宮とか寺社が多いね。それはなぜだろうか？ A 鋭い質問だね。それは講義をお楽しみにだね。ようするに軍事都市・宗教都市としての都市鎌倉を明らかにするつもりなんだよ。 B でも、史料は少なそうだね。 A 最近は、鎌倉も多くの地点で発掘がなされ、その考古学的な成果をも使って、最新の成果を講義するつもりだよ。 授業計画 教科書に沿いながら、適宜補足を加えつつ講義する。 成績評価の方法 簡単なレポート（2回、各10点）、感想文レポート（1回、50点）、簡単なテスト（30点） テキスト 松尾剛次著『中世都市鎌倉の風景』吉川弘文館 参考書 松尾剛次著『中世都市鎌倉を歩く』中公新書 その他 ●授業の目標・ねらい 歴史学について、鎌倉をサンプルとして分かり易く講義する。 ●履修にあたっての留意点 休日になる日は、レポート（語句の意味調べなど）を課すことがあります。教科書・参考書は、講義の際必ず持参すること。 ●学生へのメッセージ等 歴史学を暗記科目と誤解しているかも知れませんが、決してそうではありません。真の歴史学に触れてみませんか。 ●担当教官の専門分野 日本中世史・日本仏教史 オフィスアワー 水曜日5・6校時	